

## <学校関係者評価委員会>

1. 日時：令和4年8月5日(月) 第4回学校関係者評価委員会開催
2. 出席者：評価委員10名 学校職員3名
3. スケジュール
  - 1) 挨拶
  - 2) 学校自己評価 報告
  - 3) 質疑応答
4. 評価委員からの主な意見

学校運営	多方面にわたって色々な取り組みがされているのが分かった。心配するレベルではないと思うが、学校評価のいくつか項目が下がっているところも見える。そのようなことも意識して運営をしていただければと思う。
教育活動	コロナ禍にあっても、実習のあり方を工夫し、少しでも、1日でも多く実習が受けられるような体制を考えていくことが、未来の看護師のためでもあると思う。
学修成果	看護師国家試験合格率が高いため、評価できると思う。まじめに取り組み、実習や試験に対して前向きと感じている。教員の力添えを引き続きおこなってほしいと思っている。
学生支援	デジタル化に進んでいく事は効率としていいが、人と人との関りや、コミュニケーションの能力という部分が実習や全部に必要であると改めて思った。コミュニケーションの部分も注力して育てていただきたい。
教育環境	ICT 活用の実習や電子教科書、teams を利用しての授業等で人と人とのコミュニケーション不足が否めない。特に精神面でのサポートが今後、必要となってくると感じている。そのようなフォーもカリキュラムの中に入れて頂きたい。

## 5. 総括及び次年度の課題

報告については、コロナ禍での学校運営、教育活動を理解できる内容だったと評論を頂いた。概ね、運営、教育活動に問題はないといえるが、評価の下がった項目については分析を行い、改善に向けて取り組んでいく必要がある。また、ICT の取り組みによる弊害を理解し、環境を整えつつ教育活動に取り組んでいきたい。